



言葉使いで誤解を招くこともある

60歳で肺がんが見つかりましたが、仕事が好きだったので65歳まで雇用延長、その後70歳まで派遣社員として勤務しました。退職後は家でゴロゴロしていましたが、妻の目と趣味の家庭菜園の費用捻出もあり、今年の4月にシルバーへ入会しました。現在、自宅から近い三滝テニスコートで就業しています。先日、班長から悪気はなくとも言葉使いで、誤解を受けることがありますと話がありました。今更ながら人との対話には気をつけようと思いました。

佐藤万州夫さん



利用者からの「ありがとう」はご褒美です

70歳で退職後、年金生活をしていましたが、社会との繋がりや健康維持のためシルバーへ入会しました。現在、中央緑地運動施設で就業し、屋内では体育館等施設利用の準備・片付け・受付業務を、屋外では除草業務に携わっています。一日に2万歩も歩くため、健康維持に役立っています。就業での喜びは、利用者からの一「ありがとう」と言う感謝の言葉です。人から喜ばれることは本当にうれしく思います。

石井和宏さん



仕事がある限りは、人の役に立ちたい

会社を70歳で退職してから、何をしようか考えました。電気設備の仕事をしていた為、ハローワークに申し込みをしましたが、声がかからず、元気な間は就業しようとしたシルバーへ入会をしました。現在は、児童向けの放課後デイサービスの送迎をしています。趣味はアマチュア無線で、17歳の時に免許を取り、55年間モールス信号の通話を行っています。年二回1月と8月に仲間との懇親会が楽しみです。これからもシルバーで活躍したいと思います。

小川和裕さん

干支座談会を終えて



石井事務局長

已年生まれの会員の皆さまが108名いらっしゃいます。その内、本日参加いただいた19名の皆さま誠にありがとうございました。

おひとりおひとりの体験談から皆さまの人生の第2章、第3章の中でシルバー人材センターの占める割合が本当に大きなものであるとしみじみと感じました。日々先輩方の姿を拝見して元気づけられています。これからもお体を一番大切していただきまして、四日市市シルバーハンセンターのスローガンである生涯現役を胸に、引き続き活躍いただきたいと思います。